

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第4時(9時間取り扱い)

コンテンツを見ると、三角形の面積を求め方を理解できる

本時の授業の概要

前時までに学習した長方形や平行四辺形の面積の求め方をもとに、三角形を二つ合わせて平行四辺形にしたり、平行四辺形に変形したりして、三角形の面積を求める方法を考える。

本時の目標

三角形の面積のいろいろな求め方を考えることができる。

活用場面

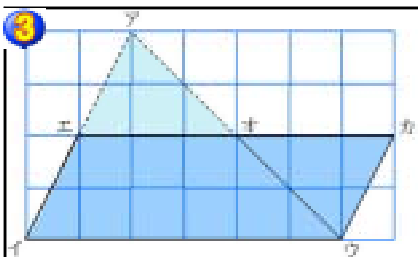
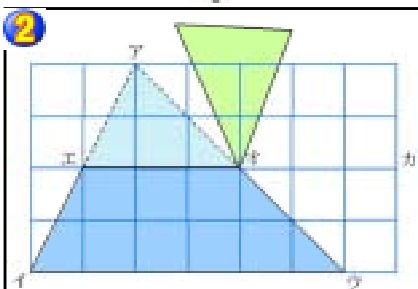
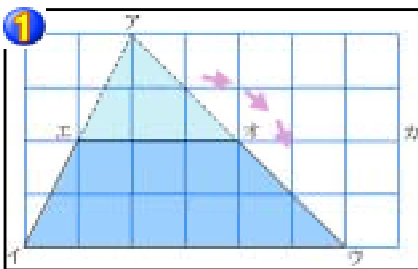
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



どうすれば三角形の面積を求めることができたか、本時を振り返る

① T : この三角形は、このままでは面積を求めることができませんでした。どのようにして三角形の面積を求めましたか。

C : 切って、できた三角形を移動して、平行四辺形にしました。

T : 平行四辺形の面積なら求めることができますね。

三角形を平行四辺形に変形することにより、三角形の面積を求められることを確認する。

③ T : 平行四辺形ができました。これをもとに三角形の面積を求めました。

T : 三角形を切り、移動して平行四辺形ができたから、できた平行四辺形と求める三角形の面積は同じになります。

T : どの長さがわかると三角形の面積が求められますか。

C : 底辺と、三角形の高さの半分がわかって、それをかければよい。

【ワンポイントアドバイス】

デジタルコンテンツを途中で止めながら、児童の発言をもとに、本時の学習を振り返る。

変形してできた平行四辺形の高さは、もとの三角形の高さの半分であることをていねいにおさえない。さらに、公式にすることができることにもふれ、次時につなげたい。

【サイト情報】

http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14contents/vol1/p92_c.html

(尼崎デジタルコンテンツ研究会)